

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587046701	科目番号 / Subject code	05870467
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14351_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (宗教から見た日本)COC+ / Religion in Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	日本の宗教文化は、その風土を反映し多様性と混合性に富む。この授業では、仏教やキリスト教と いったいわゆる「組織宗教」ではなく、神社の祭りや儀礼、民間信仰といった多様な信仰のかたち をとりあげ、「日本文化」と呼ばれるものを相対化しつつ日本社会の特質に迫る。また、以上の観 点を踏まえた上で、長崎の宗教民俗文化に対する理解を深める。		
授業到達目標/Course goals	(1) 祭りや儀礼、民間信仰に関する宗教研究の基本的な概念について説明できるようになる。 (2) 長崎の民俗文化を含めた身近な社会現象を宗教研究の用語、考え方を用いて説明できるよう になる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への積極的参加 (授業ごとのアンケート提出など) 50%、学期末レポート50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業で扱ったテーマによる身近な事例の考察。 授業で取り上げた参考文献の講読。		
キーワード/Key word	宗教、民間信仰、神話、儀礼、靈魂観、世界観、現代社会、長崎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)	特になし。		
学生へのメッセージ/Message for students	本授業の受講を通して、身近な世界を見つめなおすきっかけにいただければと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに?宗教とは何か?		

第2回	日本人と宗教
第3回	民間信仰
第4回	神話と時間
第5回	儀礼と呪術
第6回	自然と信仰
第7回	霊魂観とコスモロジー
第8回	死者との関わり
第9回	シャマニズム
第10回	病と宗教
第11回	生と老い
第12回	死と向き合う
第13回	災害と民間信仰
第14回	現代社会と宗教
第15回	まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/16		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0 / 2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587507701	科目番号 / Subject code	05875077
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 15731_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (世界の中のヨーロッパ) / European Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	正本 忍 / Masamoto Shinobu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	masamoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教員室 総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2928		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日13:00-14:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ヨーロッパの文化と文明の影響力は今なお大きい。本講義では第一に、ヨーロッパ文化の基層について基礎的な知識を得る。第二に、ヨーロッパ文明が世界にもたらした影響を環境面において検討する。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1 ヨーロッパの文化的環境の基層について説明できる (?A??H, ?N)。 2 ヨーロッパがどのように独自の文化を形成し、それを変容させたかを説明できる (?@??H, ?N)。 3 西欧および南欧の文化の多様性とその歴史的背景について説明できる (?A??J, ?N)。 4 ヨーロッパの文化と文明が世界にもたらした影響を環境面において理解し、ヨーロッパを含む世界の今後を展望することができる (?H??N)。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 (60%) では到達目標 1?4 の到達程度を確認する。定期試験では「汎用的能力」および「多様性の理解」もみるために、論述問題も出される (60点中30点)。また、同じく「汎用的能力」および「多様性の理解」を確認するために、小レポートを課す (20%)。15回目の講義の全体討論で、「主体性」を確認する (20%)。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にLACSにあげられた講義ノートには、あらかじめ目を通しておくこと。 ・講義で取り上げられたテーマが現代のどのような問題や現象に繋がっているかを常に考えておくこと。 ・参考文献を附属図書館等で手に取ってみること (もちろん、読むことが望ましい)。 		
キーワード / Key word	ヨーロッパ、文化、文明、環境、歴史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	K・ボミアン『増補 ヨーロッパとは何か? 分裂と統合の1500年?』松村剛訳、平凡社 (平凡社ライブラリー)、2002年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語? 神話編』美術出版社、1997年。諸川春樹監修『西洋絵画の主題物語? 聖書編』美術出版社、1997年。D. A. マッケンジー『ゲルマン神話』東浦義夫・竹村恵都子訳、大修館書店、1997年。三輪福松『西洋美術の主題と物語? ギリシア神話と聖書から?』朝日新聞社、1996年。西村賀子『ギリシア神話? 神々と英雄に出会う?』中央公論新社 (中公新書)、2005年。荒又美陽『パリ神話と都市景観?? マレ保全地区における浄化と排除の論理』明石書店、2011年。アリック・G. ハーグリーブス『現代フランス?? 移民からみた世界』石井伸一訳、明石書店、1997年。ほか		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	講義中に不必要な私語をしないこと。また、食事をしないこと。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	講義で話された内容が現実の世界にどのように反映されているか、関わっているかを考えながら、受講して下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ヨーロッパとは何か
第2回	ヨーロッパ文化の基層 1 : ケルト・ゲルマン
第3回	ヨーロッパ文化の基層 2 : ギリシャ・ローマ?@
第4回	ヨーロッパ文化の基層 3 : 絵画で見るギリシャ・ローマ神話
第5回	ヨーロッパ文化の基層 4 : ギリシャ・ローマ?A
第6回	ヨーロッパ文化の基層 5 : ユダヤ教・ユダヤ人
第7回	ヨーロッパ文化の基層 6 : キリスト教
第8回	ヨーロッパ文化の基層 7 : 絵画で見るキリスト教
第9回	キリスト教世界における動植物のイメージ
第10回	人と森のヨーロッパ史
第11回	ヨーロッパの拡大と環境破壊
第12回	都市の台頭と環境問題
第13回	近世パリの生活環境
第14回	工業化と環境破壊
第15回	総括・全員での議論

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587507901	科目番号 / Subject code	05875079
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (日本のことばの多様性) / Language Diversity in Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原田 走一郎 / Soichiro Harada, 正本 忍 / Masamoto Shinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原田 走一郎 / Soichiro Harada		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	haradaso@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総合教育研究棟12階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2931		
担当教員オフィスアワー/Office hours	アポイントメントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	日本国内における言語の多様性について理解する。		
授業到達目標/Course goals	言語、方言の観察をとおして身近な多様性に対して自覚的になる。 自分自身の言語を冷静に分析する能力を身につける。 長崎、および九州の方言の特徴を知る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	抜き打ちの小テストを5回 (各10点) と期末試験 (50点)。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	言語、日本語、方言		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	導入		
第2回	ことばの学問の基礎1		

第3回	ことばの学問の基礎2
第4回	ことばの学問の基礎3
第5回	アイヌ語1
第6回	アイヌ語2
第7回	琉球諸語1
第8回	琉球諸語2
第9回	琉球諸語3
第10回	琉球諸語4
第11回	本土の方言1
第12回	本土の方言2
第13回	本土の方言3
第14回	本土の方言4
第15回	期末試験